

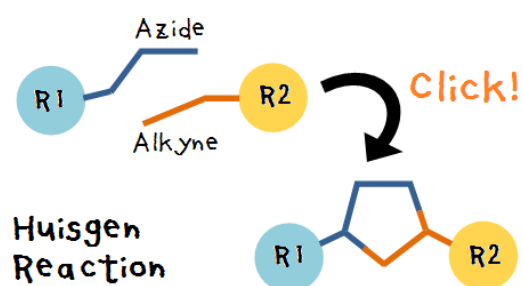
付加環化反応で機能性分子を創りだす

# 「クリックケミストリー①」

Huisgen 反応は、クリックケミストリーの中で最も一般的な反応と言われており、分子の片方をアルキン、もう片方をアジドで修飾して結合反応させます。

日本遺伝子研究所では、クリックケミストリー用の修飾オリゴ DNA 合成を承っております。

- ▶アジド(-N<sub>3</sub>)修飾オリゴ DNA
- ▶アルキン(-C≡CH)修飾オリゴ DNA



クリックケミストリーは、以下の利点から、非常に優れた手法であると注目を集めています。

- ・操作が簡便である
  - ・特異的に反応する
  - ・pH に依存しない
  - ・反応溶媒を問わない（水でも可）
  - ・反応効率が良い
  - ・汎用性が高い
- …など。

クリックケミストリー用オリゴ DNA 合成について

⇒詳しくは[こちら](#)

クリックケミストリーの反応概略

⇒詳しくは[こちら](#)

クリックケミストリーは、その反応機構を用いて、様々な応用が期待できると言われています。次回、オリゴヌクレオチドを用いたクリックケミストリーについて、概説されたレビューをご紹介します。